

細川 茶わん まつり!



黒楽茶碗 銘 おとごぜ
(桃山時代・16世紀)
※5月24日まで展示



灰被天目茶碗 珠光天目
(南宋～元時代・13～14世紀)
※5月26日から展示



木葉天目
(南宋～元時代・13～14世紀)



三島曆手平茶碗
(朝鮮王朝時代・15～16世紀)



高麗茶碗 銘 山陰
(朝鮮王朝時代・15～16世紀)



刷毛目茶碗 銘 残雪
(朝鮮王朝時代・15～16世紀)



熊川茶碗 銘 夏山
(朝鮮王朝時代・16世紀)



熊川茶碗 銘 米量
(朝鮮王朝時代・16世紀)



井戸茶碗 銘 五月雨
(朝鮮王朝時代・16～17世紀)



安南染付茶碗 銘 階萁
(東南アジア・16～18世紀)



掛分茶碗 銘 念八
(江戸時代前期・17世紀)



楽宗入作 赤楽茶碗
(江戸時代中期・18世紀)



出雲焼茶碗 銘 大杜
(江戸時代中後期・18～19世紀)



横山大観絵付 絵御本茶碗
(大正～昭和時代・20世紀)



石黒宗磨作 黒楽茶碗
(大正～昭和時代・20世紀)

鎌倉時代、禅僧が日本に持ち込んだ喫茶の習慣。禅宗とともに普及し、戦国時代にかけては、千利休のもとでわび茶の隆盛を迎えました。

この間に、茶の湯は武家社会に多くの愛好者を生み出します。文武に才能を發揮した武将・細川忠興(三斎)も、そのひとりです。「利休七哲」に数えられた忠興は、高弟の中でも利休の道統を忠実に継承した茶人と評価されています。

こうした家風もあり、忠興以来、細川家には茶の湯に関心を持つ人物が次々に登場します。ゆかりの茶道具は多彩で名品も多く、とりわけ茶わんの類は、忠興所用の「御家名物」から近現代の人間国宝作品に至るまで、バラエティに富んだコレクションとなっています。

本展では、細川家ゆかりの茶わんを一挙公開します。会場は、茶わんでいっぱいです。400年かけて集められた珠玉のコレクションを、この機会に是非ご堪能ください。

関連イベント

子ども美術館

◆6月14日(日) 10:30～12:00

「茶わんまつりだ! みんなでつくろう」

◆会場: 熊本県立美術館本館講堂

※事前申込が必要です。材料費をご負担いただけます。詳細は、当館ホームページをご覧ください(5月に掲載)。

ミュージアムセミナー

◆6月20日(土) 14:00～15:00

「細川忠興の茶道具収集」

◆講師: 当館主任学芸員 山田 貴司

◆会場: 熊本県立美術館本館講堂

※事前申込不要、参加費無料です。

同時期開催

美術館コレクション

〈特集〉

「藤田嗣治とフランスの画家たち」

◆平成27年4月4日(土)～6月28日(日)

◆本館2階展示室第3室

当館所蔵の藤田作品とエコール・ド・パリの作品を一挙に公開します。

特別展

「印象派のふるさと ノルマンディー展
—近代風景画のはじまり—」

◆平成27年4月18日(土)～6月21日(日)

◆本館1階展示室

印象派のふるさと、ノルマンディーを舞台に近代風景画の軌跡をたどります。



〈交通アクセス〉

- バス/交通センターから歩いて15分。または交通センターで熊本城周遊バス(通称:しるめぐりん)に乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 市電/「熊本城・市役所前」または「花畑町」下車、歩いて15分
- JR/熊本駅から熊本城周遊バスで「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分。または上熊本駅からタクシーで10分
- 阿蘇くまもと空港/空港バスで交通センターへ、交通センターから歩いて15分。または熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城二の丸駐車場」下車、歩いて3分
- 駐車場/二の丸駐車場(有料)、三の丸駐車場(有料)